十體千字文

辰

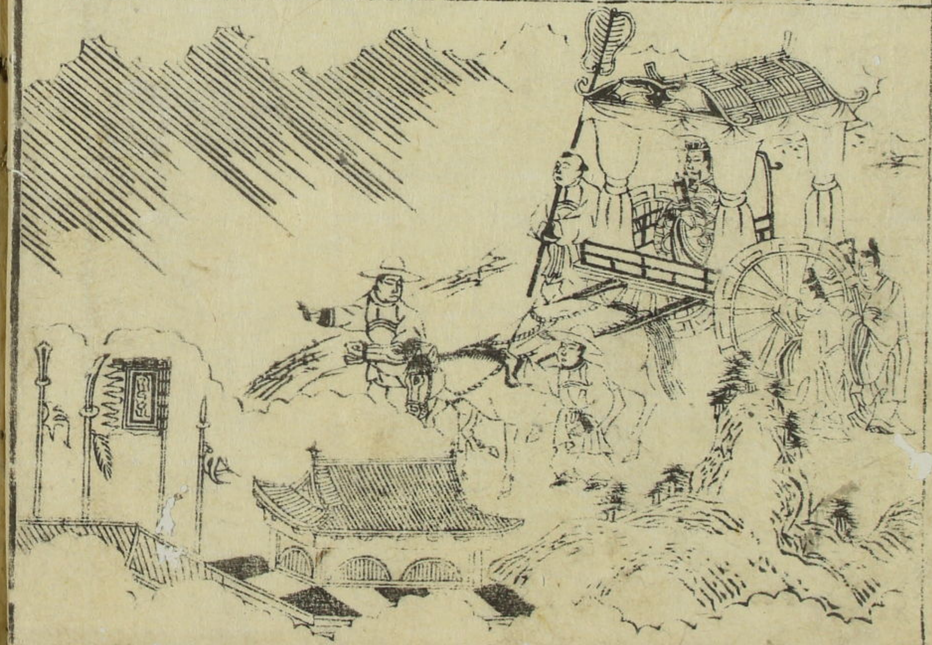
十體千字文續抄序

夫千字文者上達之楷梯積學之基本也雖往挾此書而蠻夷外鄙其用足矣蓋李邏考註雖訛於世蒙幼或倦眞字佶屈故予自畫厥圖贊厥心曉童子之愚意而耳

元祿五歲壬申九月上澣日

中村甚丞 [illegible] 序

千字文 千字文はじめ一書の武帝の代に大夫周興嗣という人千字の文をつくりて天子に奏帝これをよろこびめしてほめたまふ宋代文帝に遷れて丹陽にいたれば人そこの字文車の中にありたるにて大雨にあひ車中にありてこの字文をひろひ丹陽にゆきこれを書肆の中にくばる宋代文皇帝天下を治たまひしとき書帝代書庫をひらきて古書をあらためて乱を失ひ王羲之に命じて韻をつぐべしひとに梁の武帝にいくらうて周興嗣に命じて韻をつぐべしそ千字文なり



天地

日月 日は陽の精なり

日

天 天のうへ二位二万六千余里 地 地のしたは四角なり

天 天地玄黄宇宙洪荒日月盈昃辰宿列張寒来暑往秋収冬蔵閏余成歳律呂調陽雲騰致雨露結為霜金生麗水玉出崑岡劍号巨闕珠称夜光果珍李奈菜重芥薑海咸河淡鱗潛羽翔龍師火官人皇始制文字乃服衣裳推位讓国有虞陶唐吊民伐罪周発殷湯坐朝問道垂拱平章愛育黎首臣伏戎羌遐邇一体率賓歸王鳴鳳在林白駒食場化被草木賴及萬方

地 地垠曠野平隰既闢寒来暑往秋収冬蔵

玄 天の色は赤くして日月ともに方角をかくしたり

黄 地の色は黄なり中央にあり

宇 天地をかこむ屋宇なり

宙 昔いまここにあり今いまここにあり

聖 聖人

洪 洪は大なることなり

荒 荒はひろくくらくにして極なきなり

人 人倫

皇 皇帝

宙 宙

辰宿 北辰ハ北極とも天枢ともいふなり二十八宿ハ東ハ角亢氐房心尾箕 北ハ斗牛女虚危室壁 西ハ奎婁胃昴畢觜参 南ハ井鬼柳星張翼軫なり

日 日中に三足の烏あり故に金烏といふ 月 月中に兎あり故に玉兎といふなり

洪 荒

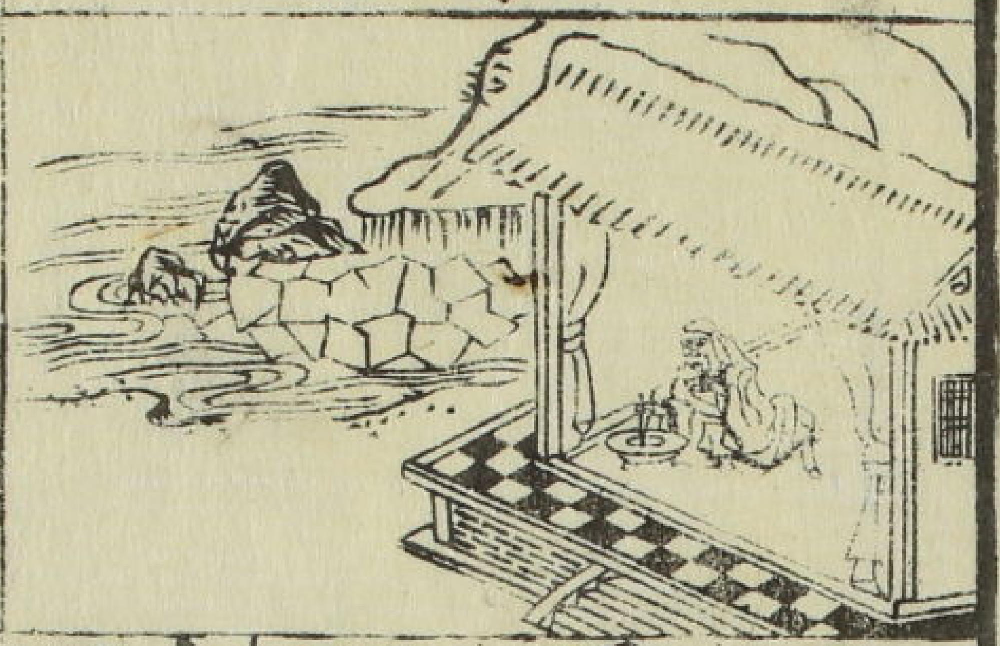
盈昃 日中なるときハかたふき月も十分なるときハ虧るといふ

日 月

辰宿列張 辰ハ北辰をさしていふなり宿ハ二十八宿の四方に各七宿あり東を蒼龍南を朱雀西を白虎北を玄武と云四方にめくりて天帝をまもる

盈 昃

辰



寒来暑往 寒ゆけバ暑きたり暑ゆけバ寒きたる このころのめくりてうつりかはりておのつから歳を推して一歳となるなり

宿 列

張 寒

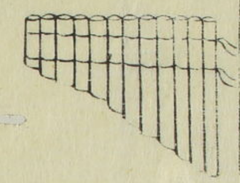
秋収冬蔵 春ハ青陽として風気温和なり夏ハ朱明として風気あつし 秋ハ白蔵として風気きびしく冬ハ玄英として風気寒し 故に春ハ生し夏ハ長し秋ハおさまり冬ハ閉蔵す

来

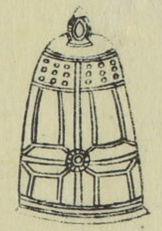
暑 往

律呂 元の声十二律八音と
八音とは宮商角徵
羽なり八音は金石絲竹
匏土革木のハつをいふ

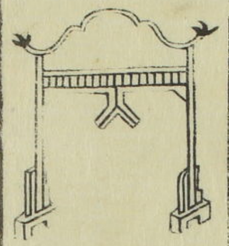
十二律



金



石



潤餘成歲 一年三百六十日六日八十
分の余り月のあまりとりて

注 秋熯穰熯秋 收 改聖收

春夏秋冬この四時とこゝろとして歲とのゝ潤月を
なりたる月に潤く潤と閏とをもて歲の功をなす

收 冬 寒 冬 藏 藏蟄蟄

律呂調陽 律ハ十二律なり陽六と律と
陰六と呂なり陽六律ハ

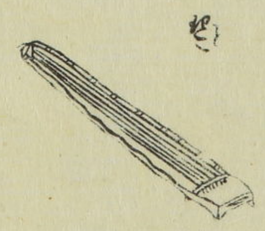
藏 藏蟄蟄

黃鍾太蔟姑洗蕤賓則ち射これなり六
呂ハ林鍾中呂南呂無射夾鍾太呂これなり

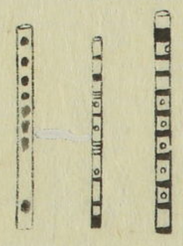
餘 餘餘餘餘

餘 成 成戌 成戌 歲 歲歲歲

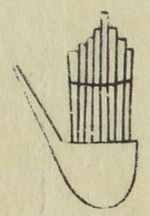
絲



竹



匏



雲 騰致雨 雨ハ陽の用なり陽の用ハ
雲なり雲ハ陰の用なり

鬱 歲 歲 律 律 律 呂 呂 呂 律 律 律 律 律 序 呂 SODA

れば雨ふり人君乃ち雨ふるゆへにひとしく湯王の代に天下大ひに旱し

呂 呂 調 調 調 調 調 調 調 調 陽 陽

雨といのるとき乃ち雨ふるゆへにこれをもつて湯王の事と殷王に
て四方の大を付をもつて坐しゆへにもつてまた殷王

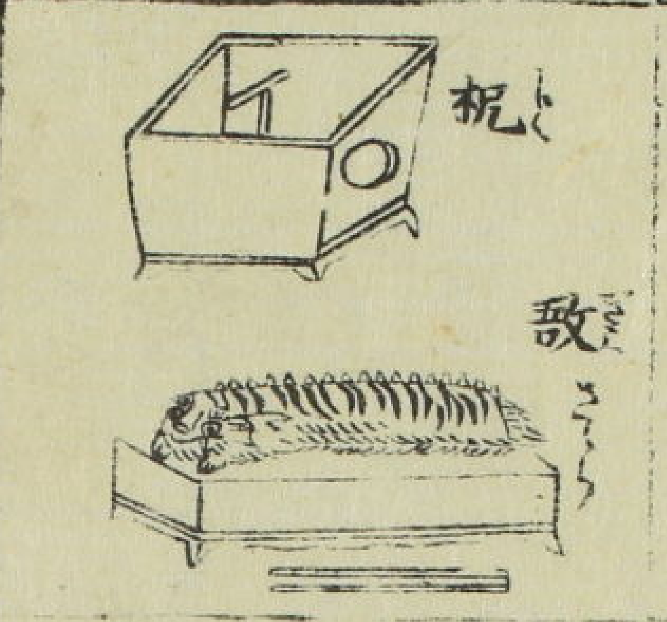
易 鬱 陽 陽 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲

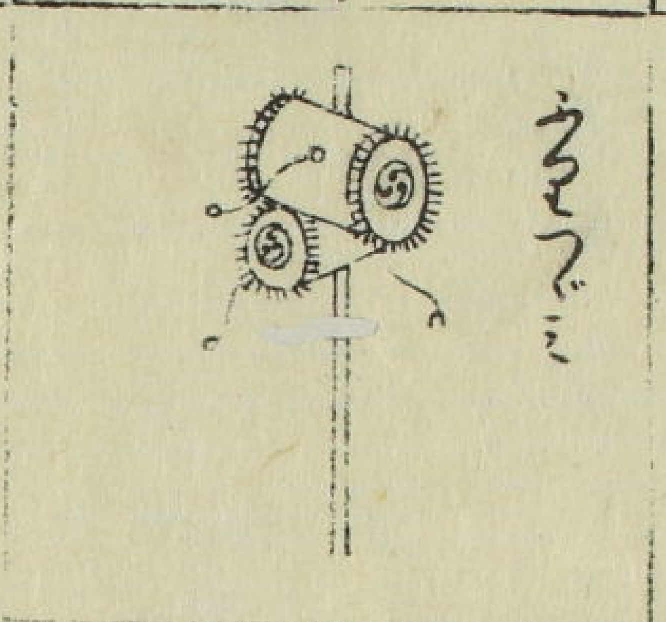
露結爲霜 霜ハ草木の花なり
ふるゆへにこれをもつて

騰 騰 騰 騰 騰 致 致 致 雨

千字文上

木	革	土





金生麗水

麗水ハ水の名なり山ハ麗水の水より金ハ出るとしるす

雨 露

よこうひ出ル金を法令をもとく れいほいハ益州永昌郡の中にあり

玉出崑岡

結 爲

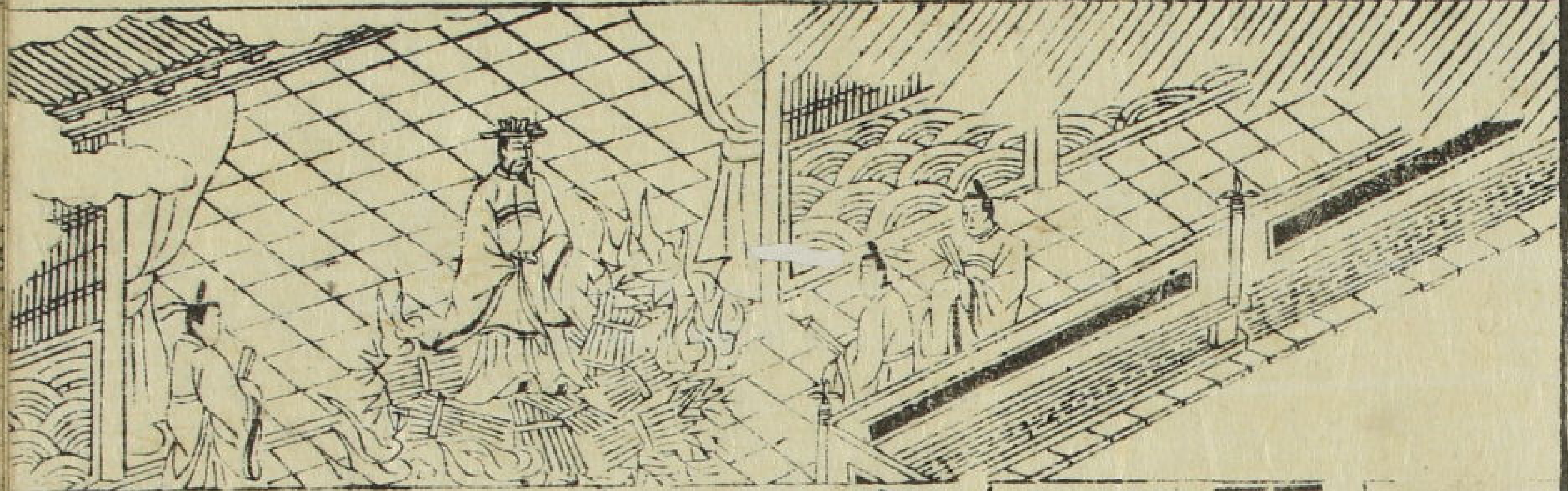
崗 楚國崑崗谷の中より美玉いづる 卞和といふもの崑崗の中にて玉をえて楚の文王にさゝぐる

霜 金

文王まことゝせずして卞和が左足を切る 武王の代に又さゝぐる武王もまことゝせず右足を切る 成王になりて成王美玉であることを知る

生 麗

雲騰致雨



劍號巨闕 巨闕ハ劍の名なり 古趙王寶劍あり巨闕と號す

水

ひつろさハ歐冶子といふものつくれり…趙王…

玉 出

珠稱夜光 楚王一つの珠あり名を夜光といふ 昔楚臣一蛇の命を救ふ

崑 岡

蛇ハ龍王の子なり 恩の報に蛇七寸の珠をもたらす これを楚王にたてまつる 則ち夜光の珠是也

劍

露　金　玉

菓珍李柰

燕乃西豐が以へにあまさころりしありその大さ

劔號號號號巨巨巨巨巨

鑄の子のごとし味香義ありしゆく もろこしに旅とりてこれを賣ちのゆく人

巨闕闕闕闕珠珠珠珠

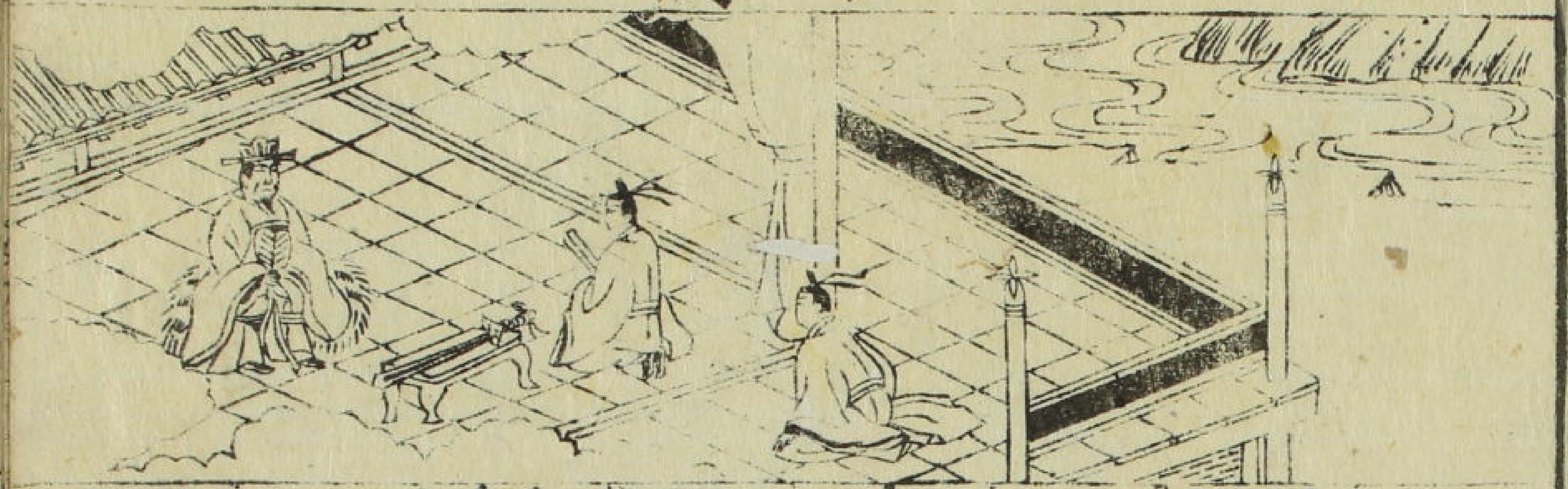
公李子の〇をとりてうつんとを出て西の國と以みありこれく柰いはれ其中の

珠稱稱稱稱夜夜夜夜

菜重芥薑 越好菜出

夜光光光光光果果果

巨闕



海鹹河淡

海のみづハしほからし河のみづハあはし 鹹ハ塩之

菓果珍珍珍珍李李

河乃みづハそのあぢはひあまし

李李李柰柰柰柰柰菜菜

鱗潛羽翔

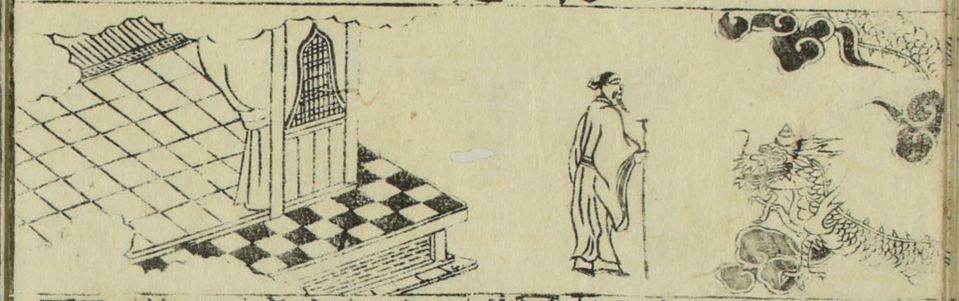
鱗ハ魚のるいを いろこあるハ水中

菜菜菜重重重重芥芥

にひそかくるとその羽あるのるい とんでつばさありそのはとひろくへるい

芥芥芥薑薑薑薑海海

夜光



龍師火帝 [illegible]

泰禮海海 鹹鹹鹹鹹 河

泗泗淡淡淡淡 鮮

鱗鱗鱗鱗 潛潛潛潛 羽羽羽羽

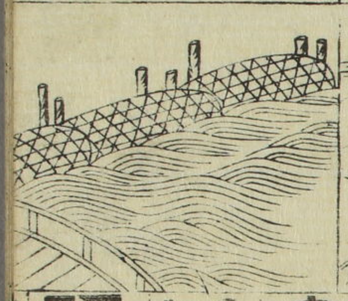
鳥官人皇 伏羲のときこれをうけて[illegible]

羽翔翔翔翔 龍龍龍龍

李柰

海

河



始制文字 [illegible]

龍龍師師 師師師師 火火

黄帝天下をたもつ[illegible]

[illegible]火火 帝帝帝帝 [illegible]

乃服衣裳 [illegible]

[illegible] 官官 [illegible]官官

人人人人 皇皇皇皇

鱗

羽翔

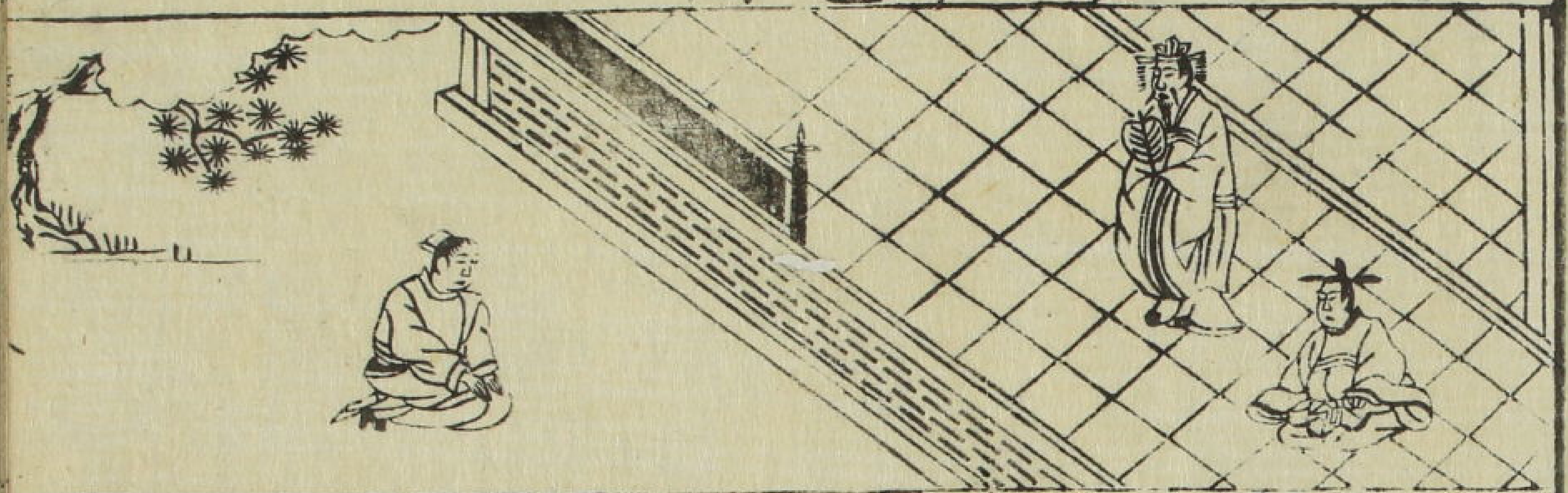
伏義

推位遜國有虞陶唐

皇 始 制 文 字 乃 服 衣 裳

推遜とハゆづるなり　堯ハ位をゆづりて舜にあたふ　舜ハ位をゆづりて禹にあたふ　陶唐ハ堯帝をさして云　有虞ハ舜をいふ　舜ハ民なりしが堯の代に九年のあひだ天下洪水せり　舜の孝行あるを以て堯めしつかひ百姓なれども堯の御むすめ二人を舜にめあはしてのちに天下をゆづりたまふ

推位遜國



弔民伐罪周發殷湯

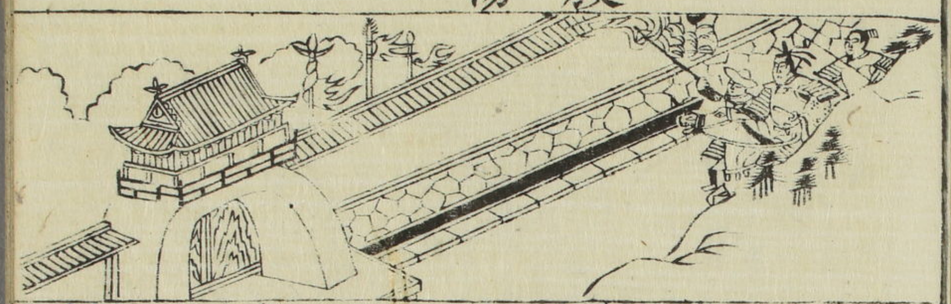
推 位 讓 國 有 虞 陶 唐

弔ハあはれむ也　民をあはれみ罪あるを伐してうつと云ことなり

周發ハ周の武王の名也　殷湯ハ殷の湯王也　殷の紂王悪逆にして民をくるしめ妲己をあいし國をほろぼす　周の武王紂王をうちて天下をおさむ

夏の桀王悪逆にして民をくるしめ　殷の湯王ハ桀が臣下也　君の悪をうれへて兵をおこして自立て天子となる

殷湯



愛育黎首 愛育ハウヅくしみゆつくみ 黎首ハ百姓とさいこうこう

殷湯緩網 殷周問聞

周の文王死んの骨をとりこめりひて葬礼衣服なくこのに倉をひらいて粟を給ものに

坐朝問道 殷湯緩網 殷周問聞

臣伏戎羌 戎羌ハ西の夷へ臣伏ハ服ようこうふく武王の代に西ハ戎ハ

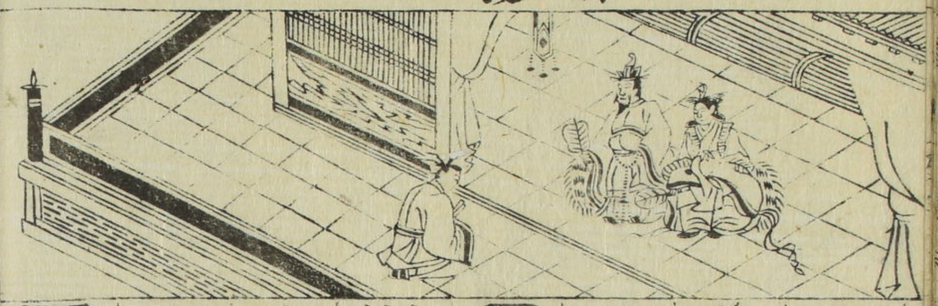
つ道 諸侯猶遵 遵

乃一国ちくこうびに敬に太公望謀下候ゑとこ言ちくにそ

修りて武王に対さうくめられハ下候自ずて服ようく

聾聾 拱 聾聾拱拱 拱 聾聾

周發



坐朝問道 天子坐ーにまうひて朝にいさ国ニおいてたとこひのみん

蕃聞唐虞 周周發 聾聾聾聾

民忠戎民 伐 戎戎民民 伐 戎戎伐

しゅ〜溪文義ハ下をして老の言と流ーむ河上

ゆうく老子の義を曉ところ言そこれと河上ようつ

くろうてこれ法ハをうとーゐんぞろうぐこふぐ帝

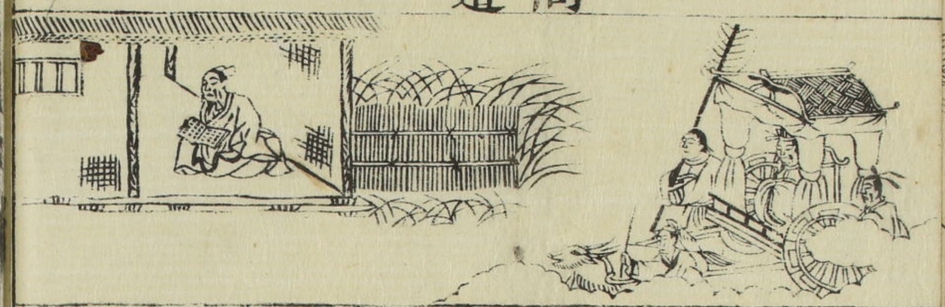
自ゐ苦ゐ庵にゆこのひて河上公にたとこんてまこと

伐 聞 聾聾聾聾 聞 聞聾聾

垂拱平章 天子衣裳を垂てたとこ

ぬき百姓を平に和げゆこ

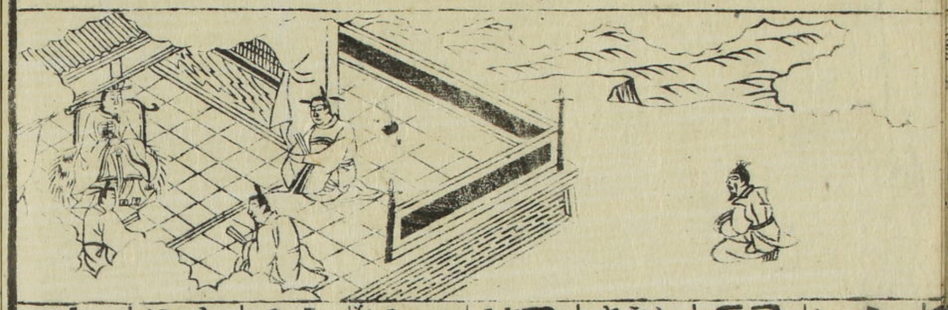
周周發 聾聾聾聾發發 殷 殷聾聾



遐邇壹体率賓歸王
龜平土章章章章章章章愛
心ハ体をつよくしていハ天下ハ天下ハ大なるもみのるひとびとさもも
下のくに天下ハ大なるもみのるひとびとさもも
率靈愛土育合會貢高黎
ゑつくねさにてんハ一ハのことくなり体ハ力と
うそいつこ率ゐるとうこころこはをたるこ
黼黎衆首曾嵐聲曾之臣臣
たちくこころにおそれるものくこころをたひとうれて
そのもとを日月のくにおひてゆ脈らくこ
臣臣臣臣臣臣伏伏伏臣伏代伏

鳴鳳在竹 鳳ハ瑞鳥にして聖人れ
ハ代にあらはれるとうし
或棲戎戎戎戎戎戎戎戎戎戎戎戎戎
ハ木にをひ竹のよにあるさうれいたうくせに醜
象にあるくうれいハ乃ちまにさうれハ惡とうつる大毒ののる
踟躕踟躕踟躕踟躕踟躕踟躕踟躕踟躕踟躕
るもの鳳凰にハをそれてうひにどうけるもの相
の本代とをとびたるよ井のりうにハ相どうのるこ
壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹壹
白駒食場 場ハ駒乃ちこうこうこうこうこうこ
風駒ハにこれをあしらうこ
傘壹率率率率率賓賓賓賓賓賓賓賓賓賓賓

臣伏

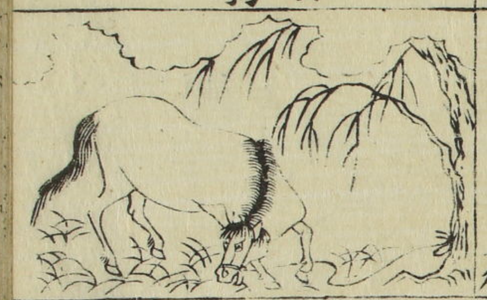


化被草木
鳥獸魚龍
王王龜王王鳴
鳴鳴鳴鳴鳴鳳鳳鳳鳳鳳在
賴及萬方
牡麃在林竹竹毋日
白白白白白駒駒駒駒駒食

堯舜禹湯文武の法代のごとくなり

鳳

白駒

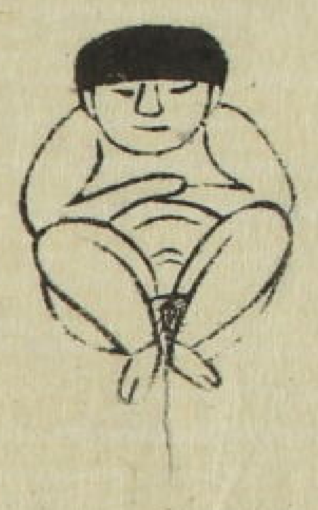


蓋此身髮
食食食食食食食場場場場場場
四大五常
化化化化化化化被被被被被草
草草草草草草草草草草草草
木木木木木木木木木木木木
賴賴賴賴賴賴賴及及及及及及

四大は地水火風則ち髪にあり地と骨肉と水と血と火と風と息と金と風とあり

四大とは仁義礼智信なり五常とは人倫のことなり

草木 | 身 | 髪



恭惟鞠養

恭ハつゝしむ 惟ハ思ふ 鞠ハやしなふ 父母

萬 [illegible] 萬 萬 万 方 [illegible] 方

乃孤幼少のときこゝろざしをもて[illegible] [illegible]父母養育の恩をわすれて[illegible]

豈敢毀傷

人ハ四大の中より生れて[illegible]ところに性をうく

豈 [illegible] 此 [illegible] 身 [illegible] 身

父母養育厚恩をおもひてその身躰髪膚[illegible]大切に[illegible]

髪 [illegible] 髪 四 [illegible] 四

恭惟鞠養 [illegible]

女慕貞潔

女人ハさうぞくただしく[illegible]

太 [illegible] 大 五 [illegible] 五

[illegible]嫁せざるにかりそめにも[illegible]

常 [illegible] 常 恭 [illegible] 恭

周都といふもの妻ハ夫死して再嫁せず[illegible]

惟 [illegible] 鞠 [illegible]

男效才良

效ハならふ[illegible] 男ハ文武[illegible]

養 [illegible] 養 豈 [illegible] 豈

ころさんといふうちに、これ母の食せねばならぬにまいりなく食をこひうけてかへりしが、これをとられへば母のうゑなんことをかなしみ、賊のまへにすゝみいでて、一家のうへをかたりて、これハ孝行のためにて候とて、賊にかへさんことをこひけれバ、賊これをきゝて、その孝心をかんじて、肉もかへしてゆるしけるとなり

知過必改　あやまりあらバそれをあらためよ
敢毀傷
毀傷　からだをおやよりうけたるものなれバ、これをきずつくることなかれ
得能莫忘　よき事をえてハわするゝことなかれ
女慕貞烈　女ハ貞烈をしたふべし
男

恭惟鞠養

罔談彼短　人のあしきことをかたることなかれ
男效才良　男ハ才あるよき人にならふべし
才良
知過
靡恃己長　長ハ人にすぐれたるところなり、ほこることなかれ
過必

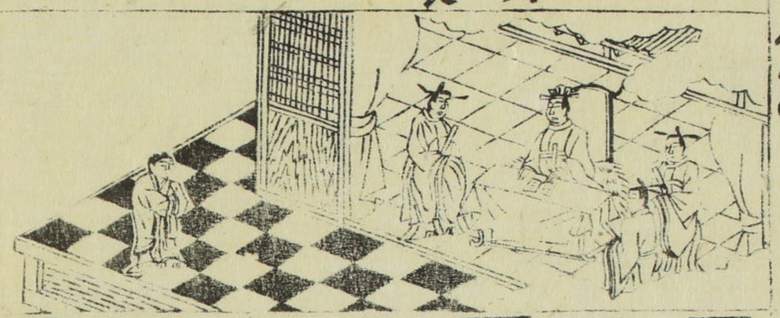
男女食 漢の昭帝 天下
のやまびとのあつまりきに
に諸國に張重しいやま
のあり 年十四にしてさ
ろ帝これどあやしん
でなんぢは何人そこのあ
重ねそこれはそなたにて
ひとしいよ帝曰なんぢ年
幼さんなんぢそなはる
んやこのごろよく重ろ日
者ちよとあるべしかるに
溜ちしうに郎をもく
なかりうんへはら
ものにはきそなるきやうと
まうこ日なんぢはいづくの
ものそ答曰昭南のもえ
ろうあるそのこと
まうこうんぢ日南のも
のるくはわにむしろて日をと
ろ一しるこまよ重日おに
ろん帝の國わりうばる
人すに天にひろてとんや
ものに原りの國ひろうん

信使可覆 信はんのくろうにそて
車のくさびのごとし一日も
改設改設 得漫畫讀 得
能 舟船 鼯飯 貫 蒸 轟
罕 欲難量 人れ量にたくこをて
器 欲難量 てはりてきこ漢の郭
莫 惑 鼯 忘 國 凶 凶 凶
椒家 る風ごを量あるしをきてれしうう
るこ風とりてうれごをくひろくして知てと
図 談 談談 鼯 談 談 彼 彼 彼 鼯

あれ原とうきりて
せんやをわにわ海の國
ありるくくこ石此水中に
とんや西南に侵略れ
のありるくくこ侵とう
きりて城くさんやりぐう
あの地を日あるくあぐく
あにわにむしろて日を
うんやをるくうきんぐ
ろにどりうきんといひけ
れうしうて大にをぐてこぶ
す 三公奏して曰小児れ
ろくくをあるとう
ゆくとえてこうきんし
つ重ねて天にむしろて
大につふしうし日服なん
ちとうきうさんとあり
なんぢなんぢをあるこうず
とうれつこてうろて
るくくこ重日これるこ三
小國のものあり今天よ
の二国にうさんしあるこば
ぶことりて喪者にせ
んあるこるなんぢ

墨悲絲染 墨は墨翟 て墨惠王
のこのくこるこ
波使 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短
あるにてるこ
ぶんだくしさ仕をうそあくにそうるうしぶ
義 偽 逆 禮 特 特 巴 工 工 工 工
詩 讃 羔 羊 論語に羔羊の詩篇
文を作るうことに代して
己 巳 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長
くくたくしくなりて海ひろくしのくくこ羊八年れ
つさ孝ひりく母八乳をのひくさひぞまつこのこ
悟 醒 信 使 使 使 使 醒 使 使 使 可

キ長



景行維賢

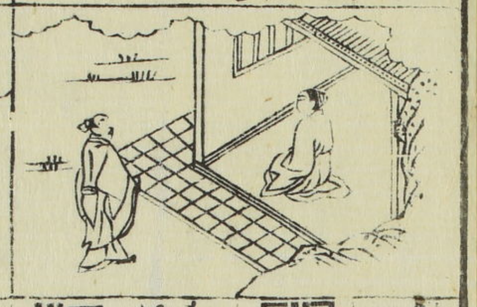
可畏可畏可畏可畏

器欲難量

憂思難忘

得能莫忘

器欲難量



德建名立

形端表正

畫彩雖難

絲絲深深

詩詩讚讚

絲絲深深

詩詩讚讚

美善美善

羊羊

墨悲絲染

空谷傳聲行ゐ維維譴維孩賢

ひゝ陳思王梁山にのぼりしときこゝろもちに岩岫の中に響とよむ声をきくもとせにつゝみ今人拂九之

賢賢賢賢賢賢賢賢賢賢賢賢

虛堂習聽虛堂はつゝみの堂なり曹の恭王孔子の宅をこわ

玄念念龜念念念作形體作仕

ちて堂をつくりしかるに堂の中に金石絲竹のもとき〳〵をのこしたる豊の典籍をあらう

化聖聖聖聖聖聖聖德德德德德德

羊羔

聖

賢

空谷

禍因惡積易云積惡之家必有餘殃

建律律律律建建名名名名名名

天地の惡をつゝみてのちにくるしめるものなり

名立立立立立立形形形形形形

福緣善慶易云積善之家必有餘慶

形形形端端端端端端端端端端端

どうりなとうちばちなるこれ者ものの

表表表正正正正正正正正正正正

空谷傳声

[illegible]

尺璧非寶

空 [谷] 谷 谷 谷 谷 [傳] 傳 傳

[illegible]

傳 傳 [聲] 聲 聲 聲 聲 [虚] 虚 虚 虚 虚

寸陰是競

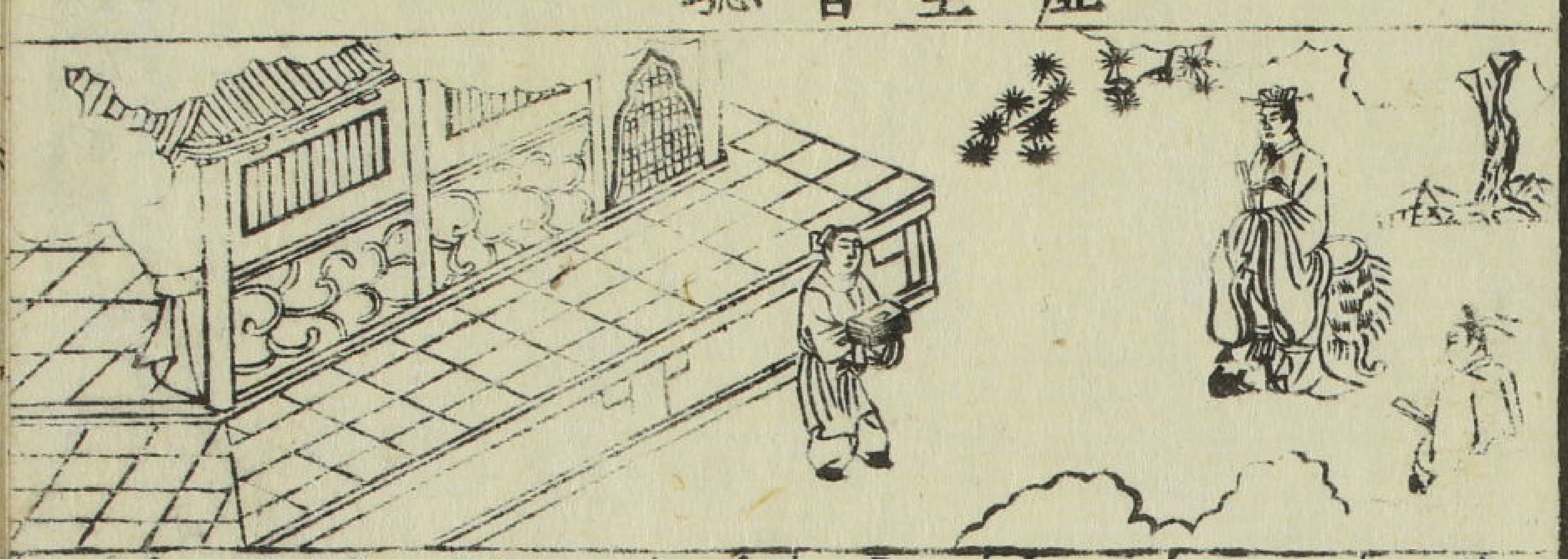
[illegible]

堂 堂 [堂] 堂 堂 堂 堂 堂 [習] 習 習

[illegible]

習 習 [聴] 聴 聴 聴 聴 [禍] 禍 禍 禍 禍

虚堂習聴



資父事君

[illegible]

禍 [因] 因 因 因 因 [悪] 悪 悪 悪 悪

[illegible]

悪 [積] 積 積 積 積 [福] 福 福 福 福

曰嚴與敬

[illegible]

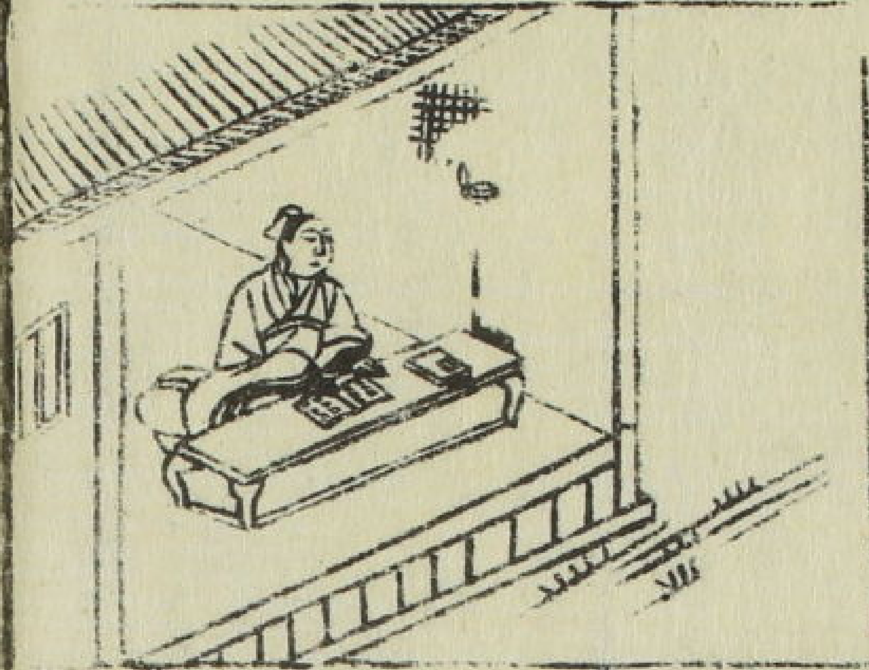
福 福 [縁] 縁 縁 縁 縁 [善] 善 善 善 善

[illegible]

善 善 善 善 [慶] 慶 慶 慶 慶 慶

寸陰是競 [illegible]

寸陰是競



孝當竭力

父母の[illegible]

尺璧非寶

[illegible]

忠則盡命

忠は[illegible]

寸陰是競

[illegible]

孝當竭力 [illegible]

臨深履薄

[illegible]

競資

[illegible]

父事

[illegible]

夙興温凊

凤興[illegible]

事君

[illegible]

曰嚴

[illegible]

似蘭斯馨

如松之盛

川流不息淵澄取映

孝當竭力

臨深

履薄

蘭

容止若思

興 溫

言辭安定

凊 似

蘭 斯 馨 如

如松之盛

川流不息

篤初誠美 慎終宜令

松 之

盛

川 流

不 息

言辞安定

業所基

貴良

淵縁水鬱渤渤激

鬱鬱巍巍海聚取外鬱取映

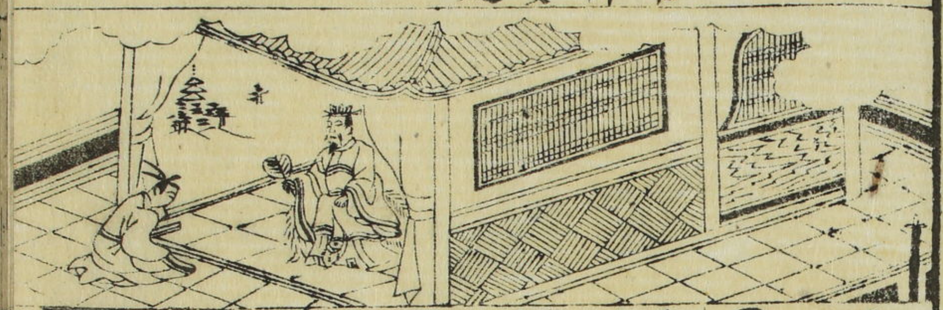
籍甚無竟

籍甚無竟

映曜映映容容容容止

止出出若若若若思思

言辞安定



學優登仕

鬱鬱思思富富富富言言辞

攝職從政

風風風風定定定定篤篤篤篤篤篤

初初初初誠誠誠誠

学優登仕 むかし蘇秦といふもの十五 いかなることにや学せんと して家に入り嫂に ともしくて妻女は ころもをつくりてかへりし ところにうつくしき蘇秦歎 して曰これ学にあらぬを ゆゑに二人これをかろ んずることあらんと 鬼谷先生にしたがひ 学問をつとめ[illegible] 蘇秦[illegible]

存以甘棠去而益詠

美 美 美 美 愼 愼 愼 愼

終 終 終 終 宜 宜 宜 宜

令 令 令 令 令 榮 榮 榮 榮

業 業 業 業 業 所 所 所 所

[illegible]

樂殊貴賤

所 所 基 基 基 基

籍 籍 甚 甚 甚 甚 無 無 無

禮別尊卑

亡 竟 竟

學 學 學 學 學 優

上利下睦 睦ハ和ナリ

隴隔優侏 發登登豐登登 仕

ナマヒトツヒトツ〜ムツマジキハ
孝行ノ先ハ身ヲ立ルナリ〜キハ身ヲ

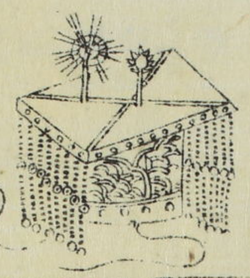
蹌蹌攝揖 職 職職職職 役

ウヤマヒ〜ヒラヒ〜ムツマジキ夫婦ハ
ヒトツ〜ニ名自然ノ名理ナリ

加 雅雅 役役 政政 政政 政政

夫唱婦隨 夫ガ唱ヲ婦ガ隨ハ
ヒトツ〜ニ婦ハ夫ヲ敬ヒ

存 掉掉 讎讎 存存 四四 言言



夫唱婦隨 信濃の国浅
ものの〜くるとこ
のむ〜氏のひとめを
いれて妻〜こそ〜ろ
国浅の妻をひとつ
手をつれどもつ
よものつ〜びあ〜く
これをふんにどひて
あ〜〜こ〜ろ〜ま
ものをつ〜こ〜ろ〜
浅ふ〜〜〜れ〜ば
〜〜に信濃の〜の
ものを〜〜に〜〜
ま〜〜こ〜〜〜
ものの〜〜〜〜
あ〜んや〜〜〜

外 愛 傅 訓 傅ハ師匠ノ〜ン例ハ教ノ〜ン男子ハ

卫 以 以 甘 甘 詈 詈 甘 女 棠 棠

ハ女ハ〜ノ師匠ヲ〜ン〜ハ〜ヲ〜〜〜
ノ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

蘭 棠 棠 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 而

入 奉 母 儀 女子ハ〜ニ成ルヲ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

而 天 天 仕 仕 攝 攝 天 天

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

夫唱婦隨

諸姑伯叔 又のあにうとをばとおとの又のをばとおとをいふ

樂樂樂樂樂樂 樂樂樂樂樂樂

猶子比兒 猶子は兄弟の子兄弟の子は子のごとくにせよ

殊殊賢賢賢賢賢賢 賢賢賢賢賢賢

孔懷兄弟 同氣連枝

禮禮禮禮禮禮 禮禮禮禮禮禮

別別別別別別 別別別別別別

尊尊尊尊尊尊 尊尊尊尊尊尊

朋友傳訓

孔懷兄弟 むつまじき兄弟

交友投分切磨箴規

[illegible]

上上上上上上 上上上上上上

和和和和和和 和和和和和和

下下下下下下 下下下下下下

三雪下下 睦睦睦睦睦睦 夫夫

夫唱婦隨 夫唱婦隨

孔懐兄弟

交友

仁慈隱惻 仁慈の心の深きこと人を憐みめぐむこと

親戚婦女 親戚のものとうちうちいつくしみ女とつうそくのことをしれること

隨邇隨侵 外

外寵外分 受 受寵受辱 傳

造次弗離 造次はつづのあいだしばしばもいたらざること

隱闇傳授 訓訓訓

廉ハ清倹にして[illegible]の[illegible]孫叔敖の[illegible]飛の[illegible]の[illegible]退の[illegible]二人大王とゆづりて小海の濱にくれいこう文王の[illegible]用にこうこう武王の世に兵をこうして紂をうちなほ殷に二人武王のこうをあざむいて[illegible]こうこうとして[illegible]むひ兵をこうして二人をこうこうん[illegible]人をうつこそ上郷にん[illegible]はんやあ人て武王につくとき[illegible]の[illegible]山にいりて用の[illegible]ぐ[illegible]これど食し[illegible]こそ[illegible]

性静情逸 人の性やすらかにして[illegible]その情逸[illegible]

心動神疲 心をいたづらにうごかすこれなきいたる

守眞志滿 眞ハ[illegible]賦[illegible]

忘聞見之知 [illegible]

[illegible]

[illegible]

逐物意移 人[illegible]

同聲同氣 [illegible]

[illegible]

堅持雅操 好爵自縻

枝枝交交 [illegible]

雅ハ[illegible]爵ハ[illegible]

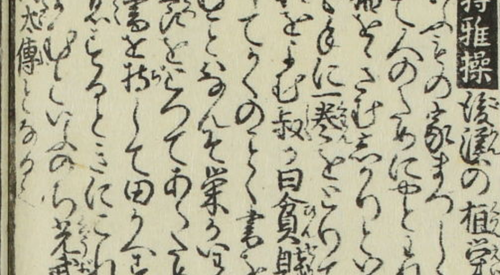
[illegible]

心の花 咲くやこの花 冬ごもり 今を春べと 咲くやこの花

退

堅持雅操 後漢の桓榮というひとの家まづしくして病をもとれて病をさしたりしかども ともに一巻をとりてこれをもむ叔父の日負賊にてしてうくのとく書をよむことなんを学ぶ志をとりてあくまで書を休むことなくとこれを休むことなくとこれをもとめしいのち光武の時太傅となる

都邑華夏 ありとこころ華夏八中国の名なりこれを中華ともいふなり



東西二京 東京八洛陽西京八長安城なり周公制大邑をもとしもとして成王都しのべとしもとして邑ともいふ漢の高祖長安城にうつりこれを西都といふ

規模規矩 巨匠仁慈

嘉肴美味 隱遁隱居 厚徳

堅持雅操

洛陽

背邙面洛 東都のうしろに邙山とて大山あり

情性 逸趣超越 逸色心色也

茅に八洛水とて洛水伊水瀍水の三つの水あつまりて黄河に入る

色彩 人動 動運動動

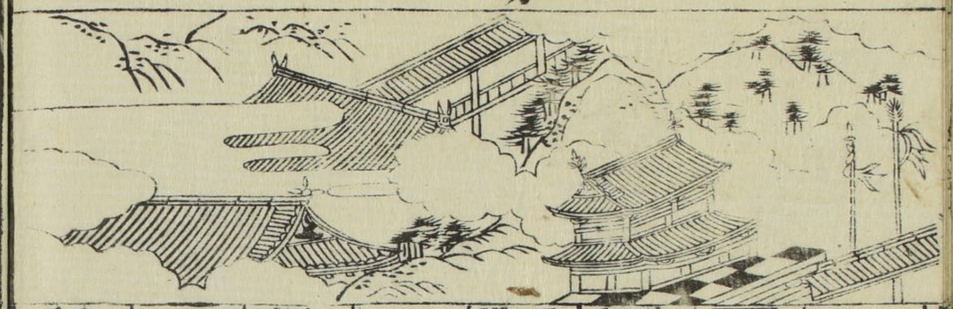
浮泪據涇 泪涇二つとも水の名長安城の後に八の水あり

神祠 祠神祇神 疲 疲倦疲

泪涇濃濃 安城をまとうて泪水にうつる涇水にうつる

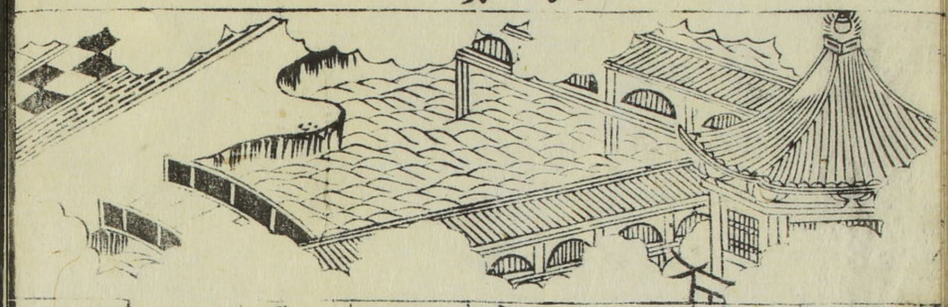
疲守 月皇守 眞眞眞眞

洛陽



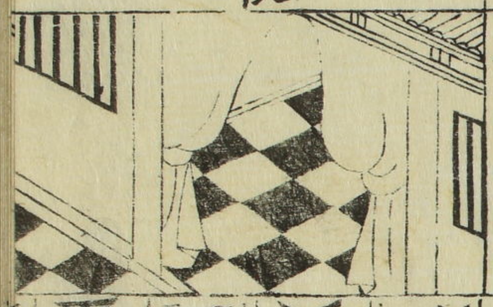
宮殿盤樹いろいろ八宗教のこゝの殿八つゝにして
眞眞真さと悲悲悲さと滿滿
めぐり〳〵ていくゝゝゝ

長安



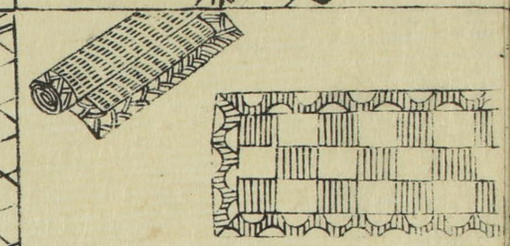
仙

帳

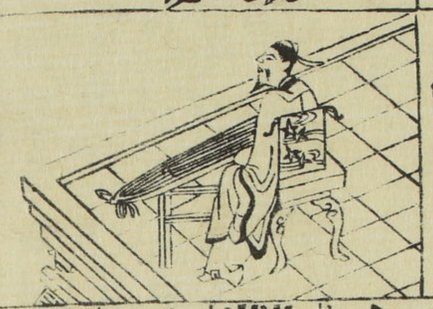


丙舍傍啟 丙舍ハ天子ノ居ル所ノ西ノ
浅紬繰 浅紬繰ハ退ル
顛倒 顛倒ハ
甲帳對櫺 櫺ハ殿中ノ小ノ窓
迎靈 迎靈ハ
性靜 靜靜ハ
性靜 靜靜ハ
敷蟬操操 操操ハ
吹笙 天子遊席ニ命シテ吹ル笙ハ
妬醋好好 醋好好ハ
麗寺自 自自自

筵席

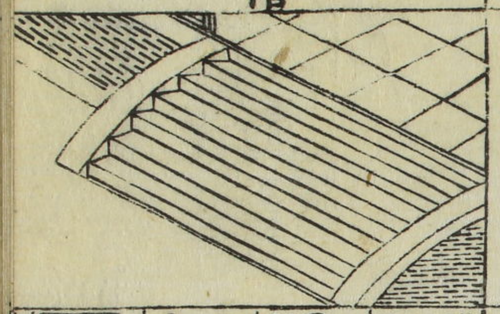


鼓瑟



王子晉

階



弁階納陛 階はきざはし天子の階を陛といふ九つ段あり

廣庶麗廣 都 龍於邑

諸侯殿上にのぼるときこはうつ右の足より向ぐ西階にて上る左の足より向ぐ東階にて上る

邑 邑 邑 邑

弁轉凝星 諸侯天子に朝するときこの紋を服する

鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 夏 夏

弁かんむり鹿の皮をもつてこれをつくる忠弁のごとく珠をもつてあらはすべしこれ

東 東 東 東 東 東 西 西 西 西 西 西

右通廣内左達承明

西 西 西 西 西 西 京 京 京 京 京 京

廣内八天子の内廷なり承明も天子の内殿なり

京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京

石渠閣の外にあり直宿のところを承明殿といふ

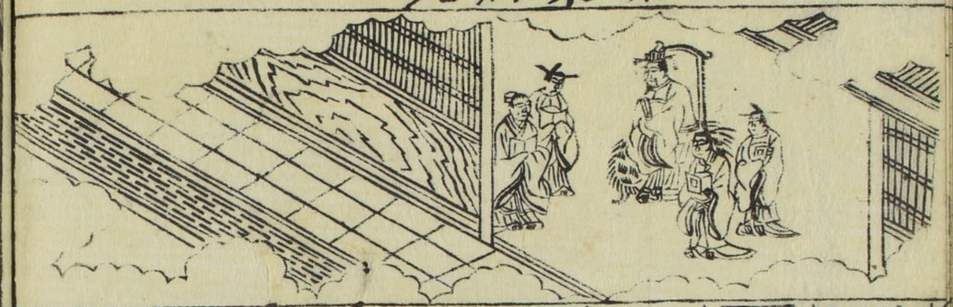
邑 邑 邑 邑 邑 邑

ここもつ右八廣内に通ずるなり

既集墳典

浴 繽 繽 各 法 浮 浮 繽 浮 法

亦聚群英



心心ハ殿ヒとなれる典籍のかゝるなり伏羲神農黄帝の書とこれ墳

渭 渭渭渭渭渭 濕 濕濕濕

漆書壁經

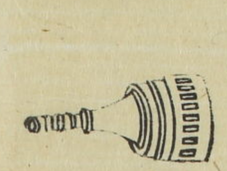
府羅將相

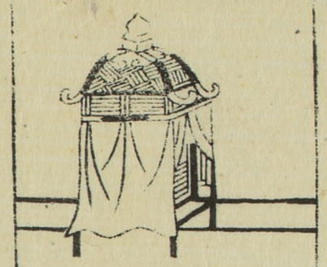
默書畫書畫書畫書畫彩彩

路俠槐鄉

彩彩彩

韓信　輦　轂





天子乃ち[illegible]ふ[illegible]車輅の[illegible]

遮[illegible]

車輪のこと[illegible]

席　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓　鼓

陰[illegible]車しゃ

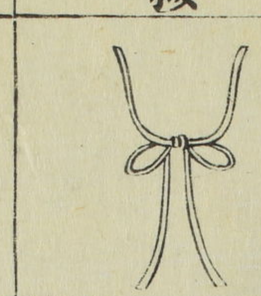
轂とあり

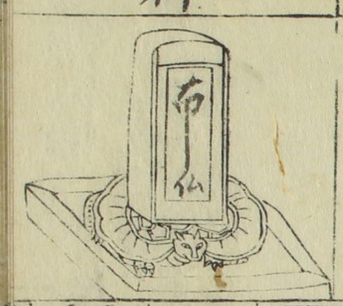
琴　笙　吹　[illegible]　[illegible]　笙

世　祿　侈　富　車　駕　肥　輕

[illegible]　笙　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

纓　裘　碑





例ハとごろ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出入[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

通 **廣** **內**

左 **達**

承 **明**

既 **集** **墳**

典 **亦**

聚 **群** **英**

杜 **稾**

鍾 **隸** **漆**

書 **壁**

經 **府** **羅**

將 **相**

路 **俠** **槐**

卿 **戶**

封 **八** **縣**

家 **給**

千 **兵**

高 冠 陪

輦 驅 轂

振 纓

世 祿

侈 富

車 駕

肥 輕 策

功 茂 實

勒 碑

刻 銘

千字文繪抄上終

千字文上

千字文上下

一

伊尹

磻溪伊尹 磻溪の水の名。伊尹は殷の人。名相。

磻磻磻

磻溪 むかし太公望磻溪の水につりをたれて居たりしが、のちに文王にめされて周の大乱にあたりて殷の世をかたふけ、天下をたいらかにせり。聖人おりてつゐに磻溪にゆき太公にあひて、これをこひて、文王ののちにおさまりぬ。水につりをたれてその身をやしなふ。太公のいくさにすぐれたる事、この日老人にて、いくばくの年をへてつかへたり

これがのち成人して賢徳ありて殷の湯王をたすけて夏の桀王をうつ功ありて承相となる

奄宅

佐時阿衡 湯王伊尹をのちに承相とする

宅曲

阿衡といふハ阿ハ倚也衡ハ平なり心ハ百姓の 桀王をうらしこさ伊尹をえらひて湯王

曲阜微

おたもく今のう輔相によりて天下の太平をいるとみるところをもちならするなり

微旦孰

一年をつかへて文王のこまりくわんらに妻あり、やがて妻子のうちこもりて、国に王たることを、うれへて文王の太公につかへて紂王をうちて文王の功をなしとげたり。則周公旦恒公よ、紂をうちて名をたつ。武王たちて太公をめして天下をおさめ、王太公をもって天下をしづめ諸侯をうけて封して斉侯となす

奄宅曲阜微旦孰営

奄ハたすくる也宅ハ居也曲阜ハ地の名なり 少昊の故しきたまふ故邑なり今の魯

桓 桓公匡合

の機をしられたり旦ハ周公旦をさしていふ 周公旦魯の国に封せられたまひ

公匡合

て曲阜の地をたまはりて周公旦とよんで曲阜をもって

済弱

太公望

桓公匡合濟弱扶傾

弱扶

傾仰

回

回

漢惠

說

感

奄宅曲阜

綺

漢惠

武

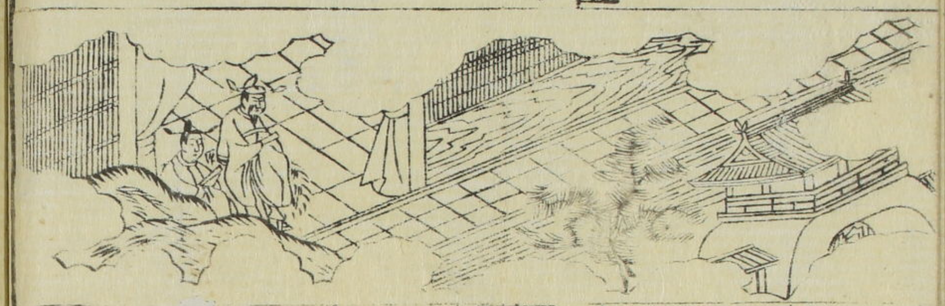
丁了

俊

俊

奄

多



說感武丁 殷ハ傳說なり武丁ハ殷の高宗なり夢

士吉 士 寔 凰金 皇 寔 宮

うるに一人の賢人をもとめしるしとしてゆめこゝろのうちにてのら

[illegible] 盧 盧 盧 靈 寧 宮 晉 豐 晉

ゆめ中にうゝ賢人のうやうちうくしとう

ちゆゝたまひてえうさにことのりをて形

醫 晉 晉 受 楚 楚 楚 楚 楚 楚 楚 楚

[illegible]

北 北 夏 夏 夏 夏 夏 更 更 更 更 霸 霸 霸

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

俊 乂 密 勿 多 士 寔 寧

俊乂ハ賢人なり密勿ハ天子賢人しもとめるこゝろの心

[illegible] 魏 魏 魏 魏 魏 魏 魏 魏 魏 魏 魏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

假途滅虢 虢八國乃君虞國と
遂亡 豫紀謂約如 法 傳 鬱 鬱 緣
虞國ともいふ晉の獻公虢
縱 懼 懼 法 法 鞭 鞭 韓 韓
虞に假道をもつて荀息といふもの
璧 懼 懼 敝 弊 弊 煩 煩 煩
璧をもつて虞公に假道を賈と虞公これに
刑 形 鄭 刑 お 起 起 起 起
虞公大夫宮之奇虞公をいさめ晉虢をうらんで虞公をうらむ

を重臣人のうらの太子に
ふうこうをうけ八十余
藏して衣冠をりかぐこうふし
ら犯あゆしこのして
こしをとひつ八臣人と
乃くくこのをとしと
くれぐこうくあるを
ゆひてこれ臣人と
すくもれともきこう
ぐこいまあゆ人に太子
にしこうてあそぐ
臣人の日こうくこ八士をう
わんとの一今太子八
付孝のりて士をあい
しんゆしうくゆ合来
いうり多てあそ実さ
嬉ゆをとそ廢ふをとが
とおそくくこ八天下わの
ううんべしこの事はけ
日ねがうくこ八その為ら
太子と御護しゆくこと
臣人てぶをこのしこ

趙魏困横 関西とハ函谷関
関東とハ崤山をさす
滅滅 鞭鞭 鞭鞭 鞭鞭 鞭鞭
秦乃昭王関西乃地をあ
いさ竹人とつくくこうくゆ関
蹠蹠 踐踐 法 土 土 土 土 土 會
東に居る趙魏おの六国ゆ関西乃昭王
乃のせいさうんうのこうひとそうひれ
會會 會 盟 盟 盟 盟 盟 盟 盟 盟
りうくとひてかくもこに相くうて
めとうて傳道をうくんとうる
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

踐土會盟

起於齊桓

齊桓頗能用管仲

何遵約法

最最最

白起

王翦

廉頗

李牧

用軍最精この四人ものこもハ
漢文書貴書九九書九九
四よりこれ
にして天下の人ものこれをまつ
州州州

禹王

百郡秦并

禪禪禮禪禪

自由ゆくゆく昭王十二年に楚の秦の朝うるもの

亭奈奈亭亭

んんてて斯う日秦八穆王西王母と

ゆらゆてゆゆらゆゆ

尾嶋嶋尾尾

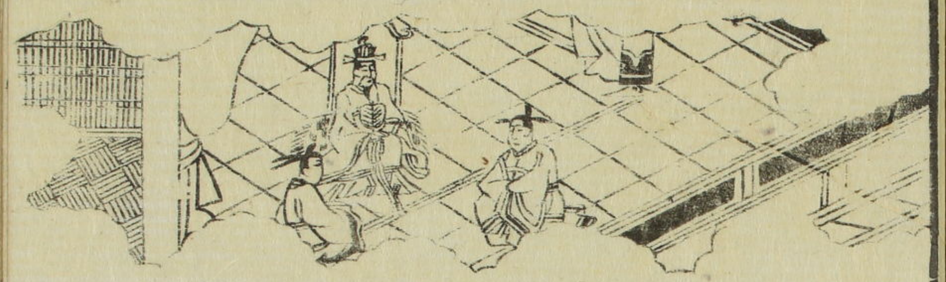
新と見ゆ人李斯ゆりしとゆるしたまをゆり

門門門門門

ゆて天下一統へ昭王天下とゆうゆ西郡ゆん

紫紫紫紫紫

塞塞塞塞塞



岳宗恒岱

岳八の岳と恒八の岳の恒岱とゆうゆ岱州

塞塞塞塞塞

よゆうゆ岳乃中ゆゆ恒岱ゆゆうゆし

雞雞雞雞雞

南ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

田田田田田

禪禪禪禪禪

禪王云亭

云亭八乃名ゆゆ無懷氏秦ゆゆ封

城城城城城

云亭と禪ゆゆ漢郊祀志にゆゆ鄭氏

禮禮禮禮禮

ゆ住に無懷氏八乃ゆ王者攸義の祭ゆ

昆昆昆昆昆

紀紀紀紀紀

禮禮禮禮禮

泰泰泰泰泰

山山山山山

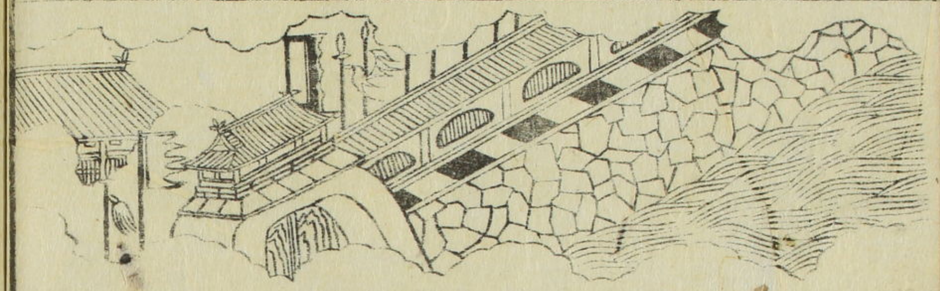
禮禮禮禮禮

泰泰泰泰泰

山山山山山

雁門紫塞 岱山ハとうくそひてたんでこゆることわこんに
嶮碣砌 石 石戸 石つん 鉏 鉏
たくつの鉄のわの石戸ハ鉄の鉄中
に白そらとくく高くく高く鷹とあ高ろ
玉龜鉅 泣 鋼 堅 埜 鑿 野 樹 墅
ゆくたるたるられて食ろ加高ろんと
欲ろくきこわまこれてにる苦の案
洞 洞 洞 風 鐘 洞 洞 庭 庭 庭 庭
とくくくの鷹苦にとれて高とろ泣案
塞八塞り傍に苦塞ハの苦ハ苦ハとれくん
砦 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠 曠

明昆



治本於農務茲稼穡
蠶織載南畝我藝黍稷
敘載南畝我藝黍稷
南面厥東疇厥家室
我共

稅 熟 貢 新

勸 賞 黜

藝 蓺 蓺 豪 素 毒 黍 黍 穀 稅

勸 賞 黜

貢 貢 貢 稷 穆 穆 稷 稅 稅 稅 穀 貢

陟 陟 陟 陟 陟 陟 陟 陟 陟 陟

貢 貢 貢 新 新 新 新 新 新 勸

勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸 勸

賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞 賞

黜 黜 黜 黜 黜 黜 黜 黜 黜 黜

孟 軻 敦 素

孟 孟 孟 孟 孟 孟 孟 孟 孟 孟

軻 軻 軻 軻 軻 軻 軻 軻 軻 軻

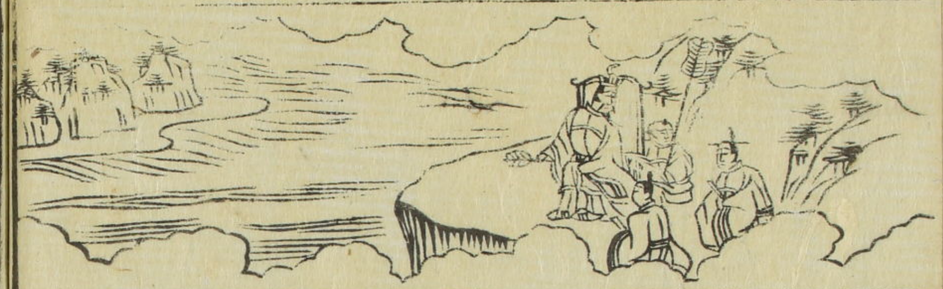
史 魚 秉 直

史 史 史 史 史 史 史 史 史 史

敦 敦 敦 敦 敦 敦 敦 敦 敦 敦

素 素 素 素 素 素 素 素 素 素

碣石



庶幾中庸勞謙謹勅

夔夔齊栗瞽瞍

中庸の中にて殺をとりそうり昇降とりつ

兼采直温直方廉廉

かたぐるしきこころにあらずとも思ひとひぬべくて中庸のこころをもて

庶幾幾幾幾幾幾幾幾幾幾幾幾中中

うつくしくてうやうやしくてうつくしくてうつくしくてうつく

岩

黍

稷

鑑貌辯色 人の容貌をこしらへてその形容をうつすこと

理理 鑑 鑑 鑑

省躬譏誡 有人家[illegible]譏誡[illegible]

誠誡譏誡 [illegible]

增增嶆增增 抗抗抗嶆 [illegible]

寵增抗極 殆辱近恥

抗極極發 [illegible]極極 [illegible]

殆辱辱辱 辱辱辱辱

林皐幸即 林皐鄉の相くるを[illegible]

狎近恥 [illegible]

[illegible]

林皐木 [illegible]

[illegible]

奉手馭 [illegible]

[illegible]

[illegible]

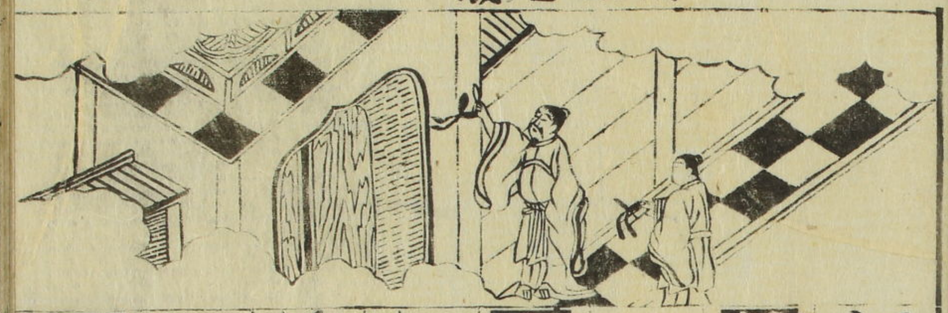
[

聆音察理

その樹なのの葉を生ずるのしるしをこのごとくんとかつ花と称ゆえんすなわちという林葉ついに

見 見 見

未古尋論散慮逍遥
六暴設設尋尋乃論論論論論
散数微闇散乃慮慮慮慮慮
ゝろぐしさハぐゝゝゝゝゝ欣奏累
ゝゝゝ遊遥ゝゝゝゝゝゝゝゝ
重遊設謂遊遥遊遥謠謠謠遥遥
遣感謝歡招欣奏累
欣形聽欣形累峯峯聞奏美



この心ハ世のゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累累
渠荷的歴園莽抽條
感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感感
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡歡
抽ハ乃ぐゝひぐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠渠

索居閑處

枇杷晚翠梧桐早凋
的皪歷歷歷歷歷歷
心ハ枇杷ハその葉をにあへてしぼまぬ
梧桐ハ葉をにあへハその葉しぼみおちやすし
園園園

枇杷

梧桐

易轉倣畏屬耳垣墻

間委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委委落

葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

具膳飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡飡

飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢飢

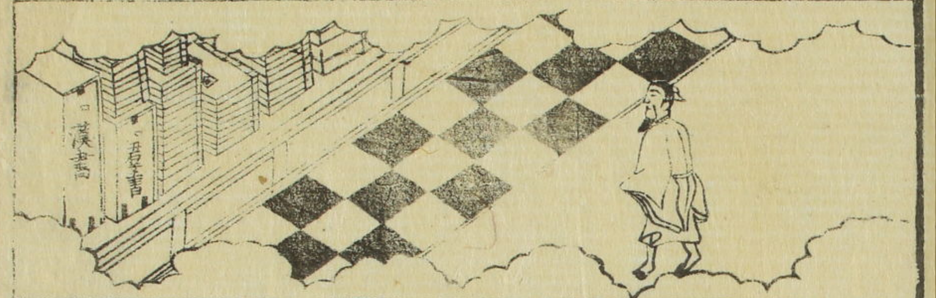
飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽飽

飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲飲

烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹烹

宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰宰

啖



飢厭糟糠

韓信貧しき時釣を垂れて常にわくごとる人々そこらへ跨をくぐらして飢をしのぎたりとぞ

獨運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運運

獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨獨

凌

凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌凌

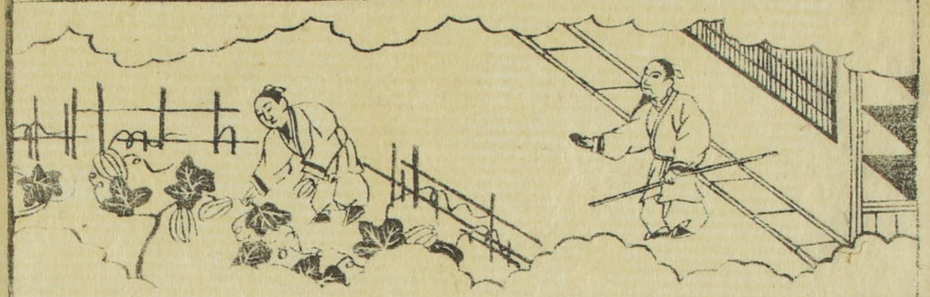
摩

摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩摩

麻

麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻麻

飢厭糟糠



老少異粮

市 風雷市お

目目 霙霙霙霙目目 霙霙霙霙

箱 箱箱箱箱箱箱箱箱箱箱箱箱

妾御績紡

輪 輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪

侍小帷房

畏畏畏畏畏畏畏畏畏畏畏畏

百百百百百百百百百百百百

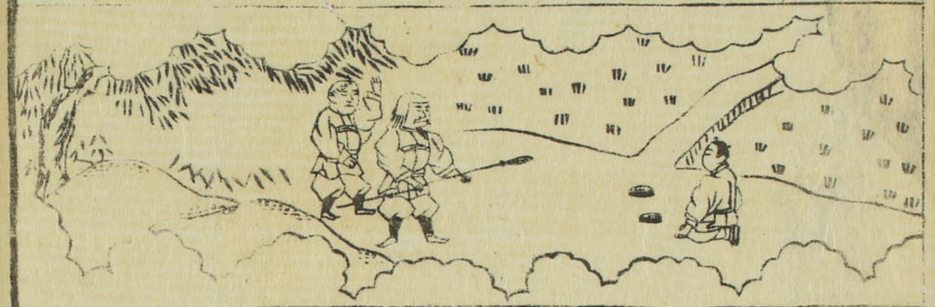
紈扇圓潔

垣 垣垣垣垣垣垣垣垣垣垣垣

具 具具具具具具具具具具具

膳 膳膳膳膳膳膳膳膳膳膳膳

老少異粮



銀燭煌煌 婦姑ハ紡績のひまらく 書眠

餐こい 飯 飯龍飯 飯 酒 酒

夕寐 ゆべ

宵口 口口 口口 口

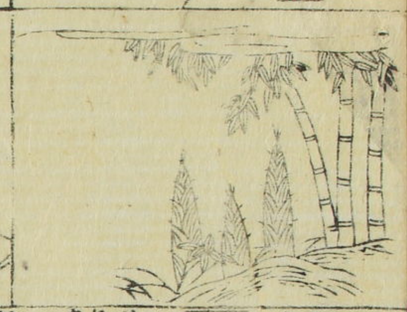
妾御績紡

悅豫且康 悅ハ心ノ豫ハ安ノ康ハ安ノ

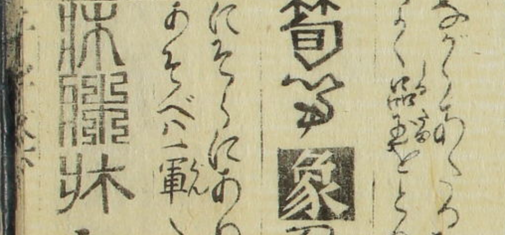
故歧故 故ハ故ノ歧ハ故ノ

故故舊舊舊

蓋笄　紙歌酒醼

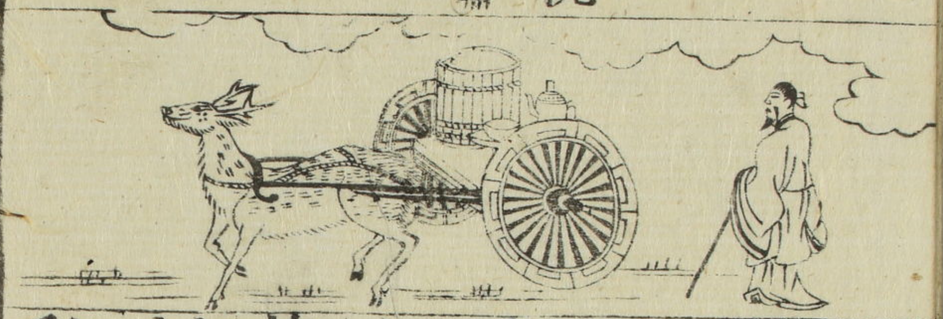


駿　犢



琴琴院庸書の稽古の庸くいろ
鬱鬱歌酒酒盃盃盃酒酒酒
まうこ書の流籍ハ酒とこの〻てに鹿車とろ
てゆとのそゆこひくしのこ〻こ〻しくく
蕭蕭蕭蕭燕燕燕

阮嘯



毛施淑姿 毛嬙ハ呉国の美人 施ハ越絺国の美人

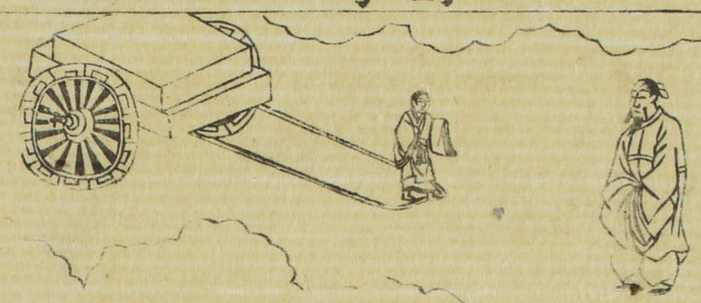
嗣祠續 續續續續續 祭 祖祖祖祭

工嚬妍笑 工ハたくみ 嚬ハ眉をしかめること

祀祀祀祀祀祀祀祭祭祭祭祭

蓁蓁蓁

鈎巧



旋璣懸斡 旋ハ義あるり璇璣玉衡こいのぶ八王ゐ天文

簡要 鬼鬼嬰嬰 顧眄

鬼鬼顧眄 荅荅含含 荅荅含含

晦魄環照 晦ハ月の三十日なり

審審審審 詳詳詳詳

骸骨醜醜 骸骨醜醜

任鈎

指薪脩祐永綏吉邵

鬼鬼醜醜 鬼鬼醜醜

執熱願濯 執熱願濯

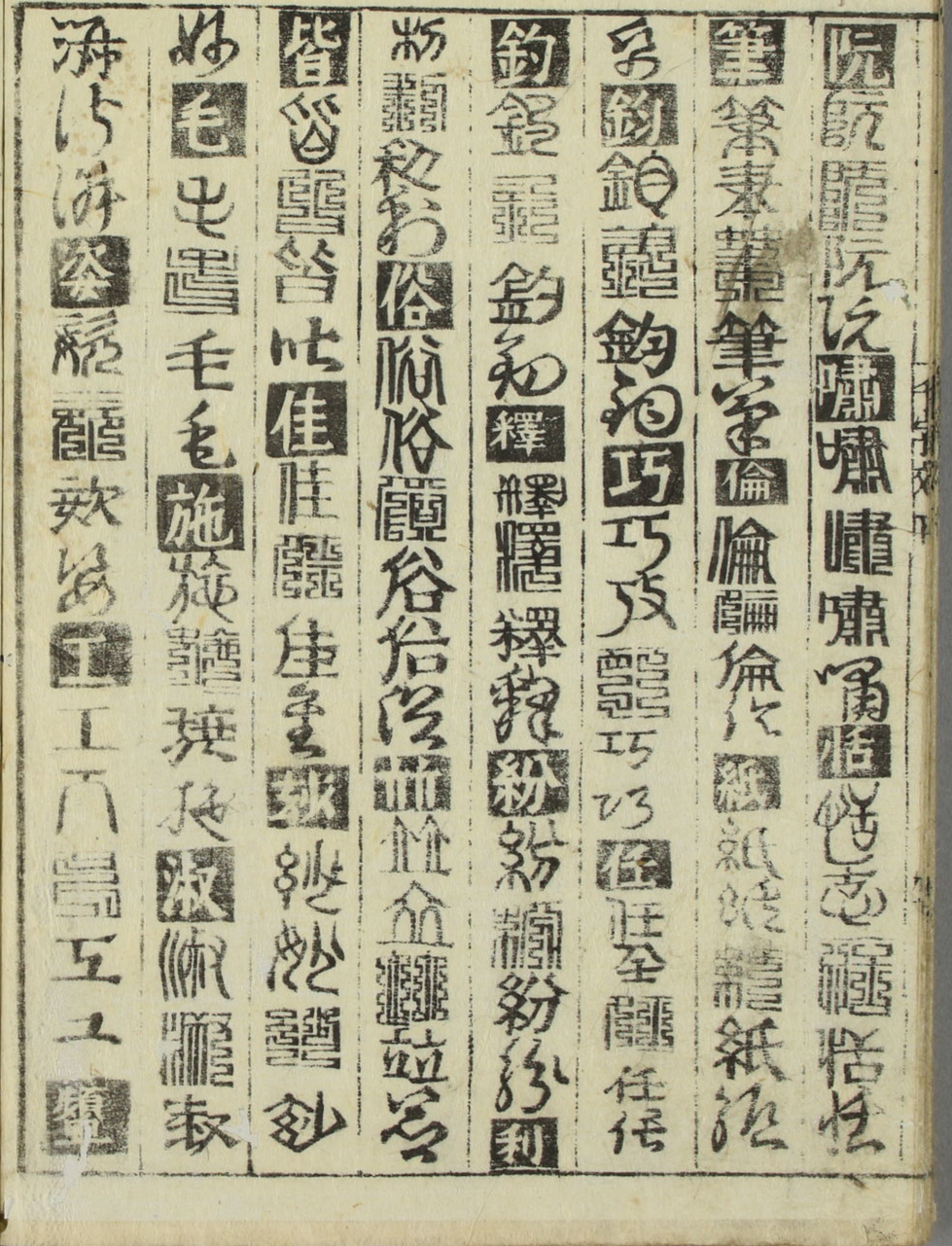
矩步引領 俯仰廊廟

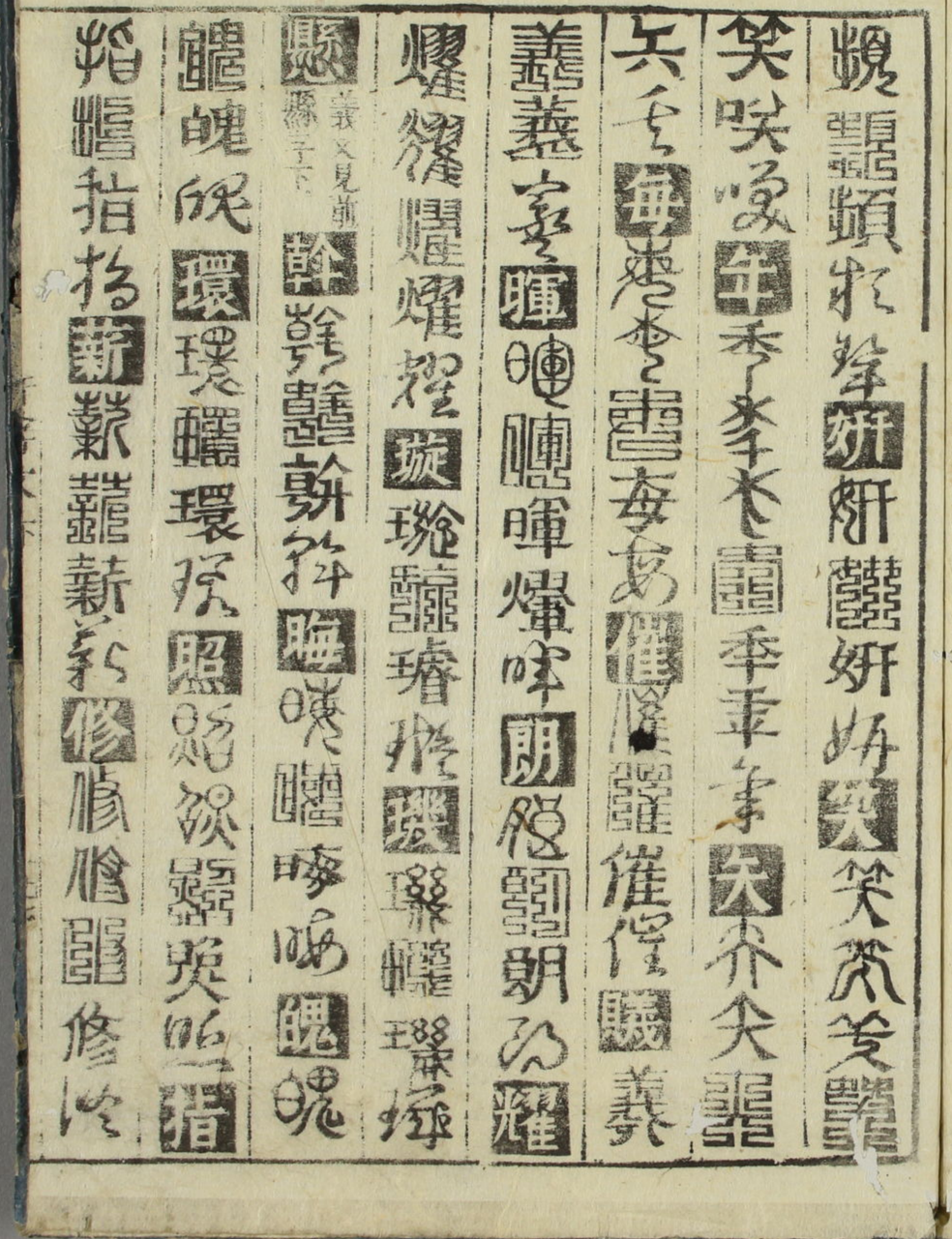
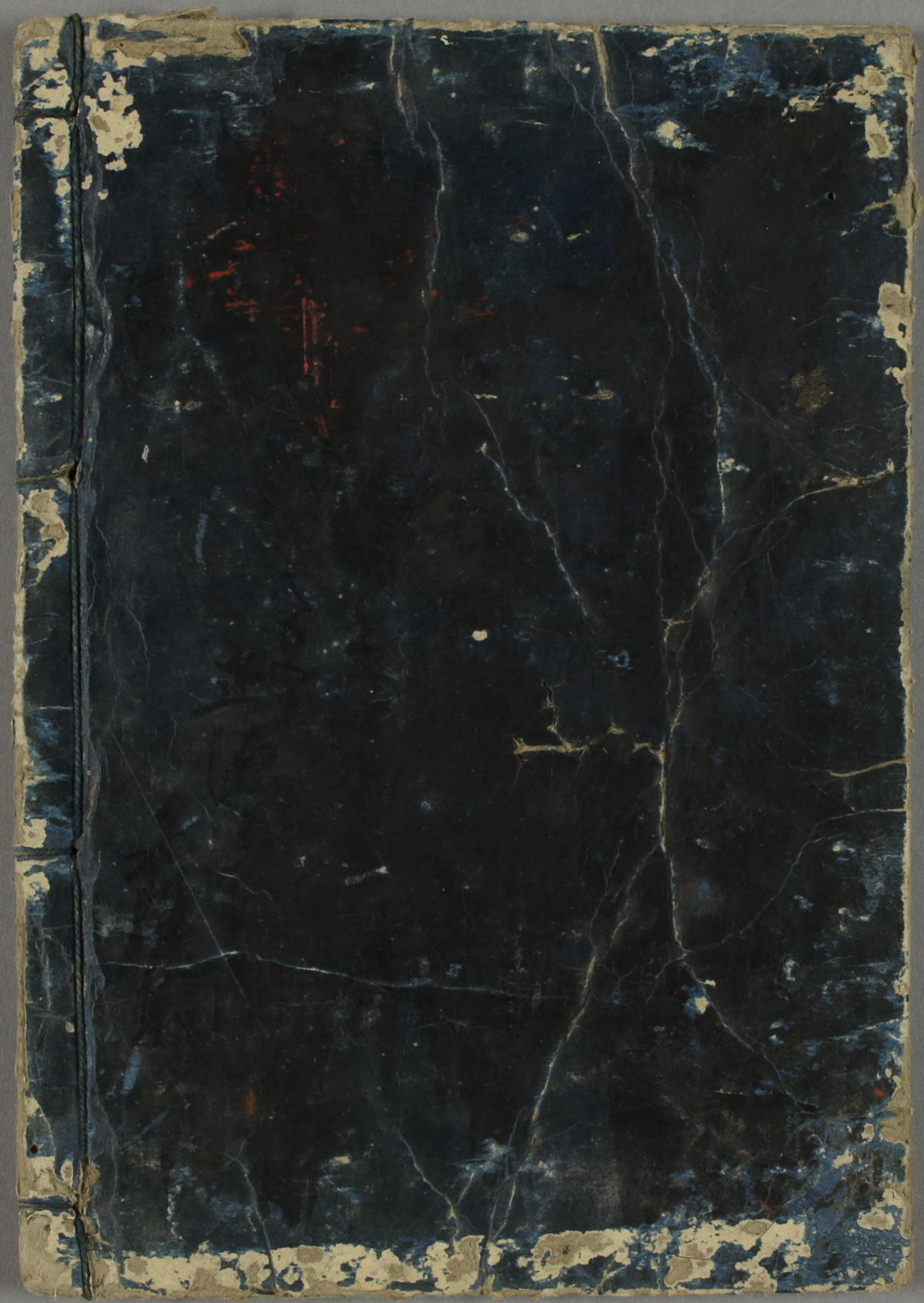
鹽鹽 鹽鹽

毛吒　施西

束帶衿莊徘徊瞻眺
[illegible]
人の束帯衣冠らるれハ
[illegible]
騒躍躍躍躍超超超超
に威らるるものへにこゝろ
もこれとこのぞんでハるゝ
超超超超超超超超超超
[illegible]
眺ハ
[illegible]
[illegible]

盜盜盜盜盜盜盜盜盜盜
孤陋寡聞愚蒙等誚
[illegible]
[illegible]
[illegible]





濩 祜 䜌 祜 祜 泉 泉 泉